



2025年10月31日

各 位

会社名 東日本旅客鉄道株式会社
代表者名 代表取締役社長 喜勢 陽一
(コード番号 9020 東証プライム)
問合せ先 モビリティ・テクノロジー部門長 塩原 敬
(Tel. 03-5334-1300)

(訂正)「2026年3月期 第2四半期決算 説明資料」の一部訂正について

当社が2025年10月30日に掲載いたしました「2026年3月期 第2四半期決算 説明資料」の記載内容の一部に訂正がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

訂正箇所

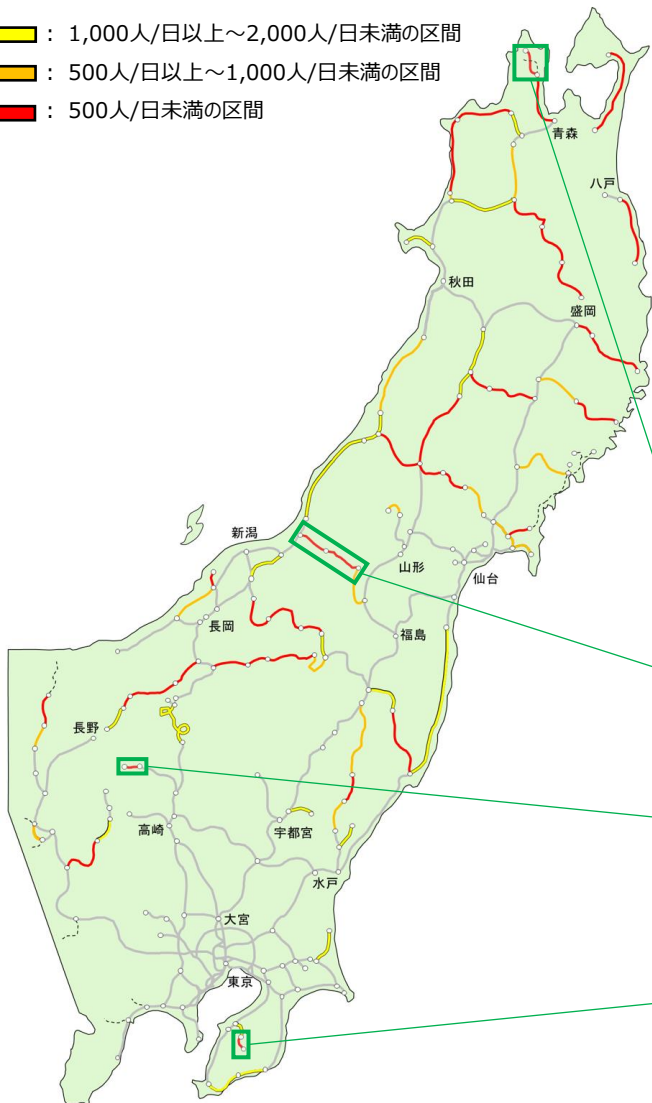
11 ページ「モビリティのベストミックス（地方ローカル線に係る協議状況）」
路線図における米坂線の囲み位置を別紙の通り訂正

以 上

モビリティのベストミックス（地方ローカル線に係る協議状況）

地域の移動手段の確保は、当社の極めて重要な役割と認識。設備のスリム化や運営の効率化を推進しつつ、ご理解・ご協力をいただきながら、**地域と一緒に「持続可能な交通体系」を構築していく。**

- : 1,000人/日以上～2,000人/日未満の区間
- : 500人/日以上～1,000人/日未満の区間
- : 500人/日未満の区間



■線区別収支

- ・開示対象：平均通過人員2,000人未満/日の線区
- ・収支状況：

| 年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|-------|----------|----------|
| 開示線区数 | 36路線72区間 | 36路線71区間 |
| 運輸収入 | 63億円 | 62億円 |
| 営業費用 | 821億円 | 853億円 |
| 収支 | △757億円 | △790億円 |

数値切り捨ての関係で、収支は運輸収入と営業費用の計算結果と一致しない場合がある

線区 **津軽線 蟹田・三厩間**（運休中）

状況 2025年6月、関係自治体との間で自動車交通への転換に係る基本合意書を締結。現在、代替となる自動車交通の運行や今後設立するNPO法人の詳細について関係者と協議中。

線区 **米坂線 今泉・坂町間**（運休中）

状況 JR鉄道運行案に加え、上下分離、バス転換および3セク移管とした場合における地域の負担の規模感の目安と復旧後のイメージを提示した。これらについて今後地域との議論を深めていく。

線区 **吾妻線 長野原草津口・大前間**

状況 主なご利用者である高校生とご家族が抱える通学に関する課題解決に向け、新幹線を利用した通学の実証実験を実施中。次年度は下校時の送迎に関する実証実験を実施予定。

線区 **久留里線 久留里・上総亀山間**

状況 JR久留里線沿線地域交通検討会議にて、自動車交通への転換が望ましいという方向性で報告書が取りまとめられたことを受け、当社として「バス等を中心とした新たな交通体系へのモードチェンジを図ることが適切」と意思表示を行った。現在は、君津市地域公共交通会議にて、君津市が中心となりモード転換後の具体的な交通体系を検討中。